

アルトの皆様

昨日は練習お疲れ様でした。

来週は五味さんのピアノ合わせがありますので頑張りましょう。

では、練習日誌をお送りします。

●3月23日(土)14時00分～16時40分

●芦原小学校 2階多目的ホール

●参加人数 S/8、A/13、T/3、B/3

○はじまり

- ・15小節「地平線がある」は音楽の密度が高くて揺れている感じで、19小節「あるー」は伴奏のタンタンタンに気持ちを乗せて、1.2.3で20小節「せなかをのぼして」に入る
- ・42小節「ひかりが」はもっとしっかり
- ・65小節「そんなことどもは」mfになるが言葉ははっきりと

○雨

- ・歌う前に気持ちを切り替えてしっかりと落ち着いた雰囲気を持って、最初から6/8拍子を意識して3.4拍を早く、全て均等に歌わないで
- ・そうしないと生き生きとした音楽にならない
- ・曲を通して強弱記号は一つ上にする(p→mp、mp→mf)
- ・練習番号2「またよこたわる」はfまでいかないが降りそそぐ雨の生命力を感じて
- ・練習番号4「ゆるしあえぬ」許しあえない気持ちを柔らかい音色で表現する
- ・練習番号7は生命が復活してくる。その喜びと力強さ、幸福感が次々と出てくる。余り強く歌えないがその気持ちを感じて、聞き手に伝えるように演じられるのがアマチュアの醍醐味

○花

- ・練習番号Aの中に16部音符の跳躍が何度もありますが、もっとしっかり自信を持って歌う

○温かいシチュー

- ・57小節「かきませよ」はしっかりと終わる
- ・63から64小節「U」はクレッシェンドして、「大事なものなんてないのだと」はmfからfなのでしっかりと
- ・85から89小節「わたしたちの～」mpからクレッシェンドしてfまでしっかりと誇らしさを感じて
- ・90小節から「となりのむすこ」はテンポ遅れずに、「やむなく敵と呼ぶくにのこどもにも」は滑舌良く言葉をはっきりと
- ・102小節「だから」はとても大事
- ・119小節「おんたち」はそれぞれテヌートが付いているのでしっかりと
- 137小節「シチューを」はそれぞれアクセントが付いているのでピックアップする
- ・152小節最後の「か」から一度qに落としてまた盛り上げる

○アルデバラン

- ・21.42.60.68小節等フレーズの終わりはきちんと歌い切る

## ○母の手

- ・ 69 小節「ひが」はしっかり伸ばして指揮を見てブレスして「ほんとうに」に入る

## ○等圧線

- ・ 130 小節から最後までは監督の指揮をしっかりと見て確認しながら歌う
- ・ 62. 65. 82 小節「みー」等の 3 拍目の休符をしっかりと感じるように気を付ける

## ○AVE MARIA

- ・ 訳詞の場面毎の目線を考えて歌う

## ○Ave Verum

- ・ 抑揚を考えて盛り上がるところはしっかり歌う

## ○Kyrie

- ・ 4 ページ 12 小節と 5 ページ 26 小節と 28 小節の「e-lei-son」の「e」はアクセントスタッカートがついていますが、ちゃんとお腹で支えて響きを出す

## ○Gloria

## ○Credo

## ○Sanctus

- ・ スタートの「San-ctus」は伴奏のリズムを体で感じてイメージしながら。

## ○Benedictus

## ○Agnus Dei

- ・ 曲を通して「pa-cem」の「e」の音を充実させてしっかり歌う

## ○あなたのことを

- ・ 稲垣コンミスも話していましたが、今まで歌いこんでいるし、アンコール曲なので出来るだけ暗譜を心掛けましょう

以上です

新里 ♪